

- 問1 ヨーロッパの北西岸に沿って流れる暖流で、高緯度にあるロンドンやパリなどの都市が、緯度のわりに冬でも温暖な気候になる主な要因となっている海流の名称として正しいものを選択してください。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
1. 北大西洋海流                      2. リマン海流                      3. 黒潮                      4. 千島海流
- 問2 ヨーロッパ北西部の沿岸部は、日本の北海道よりも高い緯度に位置していますが、冬の寒さは比較的穏やかで過ごしやすい気候となっています。このような気候が形成される要因として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 香川県公立入試 類似)
1. 低緯度から流れてくる寒流の千島海流と、夏に海から吹き込む季節風の影響を受けるため                      2. 赤道付近から一年中吹き続ける貿易風が、熱帯の湿った空気を常に運んでくるため                      3. 大陸から吹き出す乾燥した季節風と、沿岸を流れる寒流の影響で上昇気流が発生しにくいいため                      4. 高緯度へ向かって流れる暖流の北大西洋海流と、その上空を一年中吹く偏西風の影響を受けるため
- 問3 イタリアのローマ周辺など、地中海沿岸の地域で見られる、夏季に降水量が極端に少なく乾燥するという特徴を持つ気候区分と、その環境に適応した代表的な農作物の組み合わせとして正しいものを次の中から選びなさい。 (2026年 神奈川県公立入試 類似)
1. 地中海性気候 ― オリーブ                      2. 西岸海洋性気候 ― オリーブ                      3. 西岸海洋性気候 ― パナナ                      4. 地中海性気候 ― パナナ
- 問4 ヨーロッパ連合（EU）の加盟国間における、人々の移動に関する仕組みについて適切に説明しているものはどれか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
1. 加盟国間の国境を通過する際、パスポートの提示が必要なくなった。                      2. 加盟国間を移動する際は、自国の身分証明書ではなく、EU共通のパスポートを毎回新規作成しなければならない。                      3. すべての加盟国において、共通通貨であるユーロの導入が強制された。                      4. 域内の国境を越えて移動する際は、一律に関税を支払う義務が生じた。
- 問5 北ヨーロッパのノルウェーなどの地域では、土地利用の統計において耕地面積の割合が低く、森林や牧場・牧草地の割合が非常に高いという特徴があります。このような土地利用が行われる背景にある自然環境と、その環境に適応して発展した農業形態の説明として最も適切なものを選びなさい。 (2026年 兵庫県公立入試 類似)
1. 熱帯に近い高温多雨な気候を利用し、輸出を目的として特定の農作物を大規模に栽培するプランテーションが発展した。                      2. 冷涼な気候のため穀物の栽培が困難であり、牧草地を活用して乳牛を飼育し、乳製品を生産する酪農が発展した。                      3. 温暖で平坦な土地が広がっているため、小麦の栽培と豚などの家畜の飼育を組み合わせた混合農業が発展した。                      4. 夏の降水量が極端に少ないため、乾燥に強いオリーブやぶどうを栽培し、羊を放牧する地中海式農業が発展した。
- 問6 ヨーロッパで行われている航空機の国際分業体制について、その背景や仕組みを説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2015年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 開発に必要な膨大な費用や高度な技術を複数の国で分担し、効率的に生産を行うため。                      2. 労働賃金の安いアフリカや東南アジアにすべての部品製造を委託し、ヨーロッパでは組み立てのみを行うため。                      3. 輸送コストを削減するために、すべての部品を一つの国だけで一貫して製造するため。                      4. 各国の国内産業を保護するために、他国との協力を一切行わず独立して航空機を開発するため
- 問7 ヨーロッパの中南部に位置し、イタリア半島の北側からフランスにかけて広がる高く険しい山脈の名称と、地質学的な分類の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 鳥取県公立入試 類似)
1. ヒマラヤ山脈 ― 新期造山帯                      2. アルプス山脈 ― 新期造山帯                      3. スカンディナビア山脈 ― 古期造山帯                      4. アンデス山脈 ― 古期造山帯
- 問8 ヨーロッパ諸国の人口と工業に関する説明として、人口が8000万人を超えて欧州最大であり、かつ高度な技術力を背景に自動車生産台数が年間600万台を超えるなど、強固な自動車産業を有する国はどこか答えなさい。 (2018年 愛知県公立入試 類似)
1. ドイツ                      2. イギリス                      3. イタリア                      4. フランス
- 問9 ヨーロッパ連合（EU）では、域内の経済的な結びつきを強めるために、多くの加盟国で共通の通貨が導入されています。この通貨の名称を答えなさい。 (2020年 福島県公立入試 類似)
1. ポンド                      2. ユーロ                      3. ドル                      4. フラン
- 問10 地中海沿岸に位置するスペインにおいて、オリーブの生産が世界最大となっている理由を、気候の特色と関連付けて説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2024年 栃木県公立入試 類似)
1. 一年を通じて降水量が多いため、水を大量に必要とするオリーブの多期作に適しているため                      2. 偏西風と北大西洋海流の影響で夏が涼しいため、冷涼な気候を好むオリーブの生育に適しているため                      3. 夏の乾燥に強いというオリーブの特性が、夏に雨が少なく乾燥する地中海性気候の特色と合致しているため                      4. 夏に季節風の影響で高温多湿となるため、熱帯性の植物であるオリーブの栽培に有利であるため
- 問11 デンマークやノルウェーなど、北欧諸国で盛んな「酪農」という農業形態について、その生産物の特徴を正しく説明しているものを選びなさい。 (2026年 兵庫県公立入試 類似)
1. 生乳だけでなく、保存性の高いチーズやバターなどの乳製品を生産し、輸出も行っている。                      2. 広大な牧場を移動しながら、羊やヤギの毛を採取して衣類の原料として出荷している。                      3. 温室を利用して、冬の寒さを避けながらトマトやキュウリなどの夏野菜を生産している。                      4. 主に自給用として、トウモロコシやジャガイモなどの根菜類を家畜の飼料とともに生産している。
- 問12 2015年のエネルギー供給に関する統計資料によると、日本は石炭・石油・天然ガスなどの合計が83.5%に達しているのに対し、ドイツなどのヨーロッパ諸国ではこれら化石燃料の合計が59.2%となっています。その一方で、地熱・太陽光・風力などの供給割合は、日本が1.5%であるのに対し、ヨーロッパ諸国では24.9%に達しています。このようなエネルギー供給の構造の違いが生まれている背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)
1. ヨーロッパ諸国では、石炭や石油などの地下資源が完全に枯渇しており、自国でエネルギーをまかなう手段がないため。                      2. ヨーロッパ諸国では、持続可能な社会の実現に向けて、環境負荷の低いエネルギーへの転換を政策的に進めているため。                      3. 日本はヨーロッパ諸国に比べて電力需要が極めて少なく、新しいエネルギー源を開発する必要性が低いため。                      4. 日本は四方を海に囲まれているため、風力や太陽光などの自然エネルギーを利用した発電に適していないため。